

## NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会 第9回講演会

### ■講演会主旨

特定非営利活動法人海に学ぶ体験活動協議会（以下CNAC）は、平成19年に海辺の自然体験活動を普及させるために設立された全国組織です。これまで海辺の体験活動の普及のために安全に関する一般市民への啓発、指導者養成等を中心に実施し、成果物として、海あそび安全講座のための小冊子、運営マニュアル、海あそびのプログラム事例集などを作成しています。

設立以来5年を経過した平成25年度からは、新たな活動計画として三ヶ年の中期的目標を策定し、個々のNPOでは実施できない、全国組織としての使命を実現するために、「皆で汗かく三つの広げよう運動」（平成25～27年度）を展開し、平成28年度からは、これまで蓄積してきた「海辺の自然体験活動」や新たに開発した「海辺の環境教育プログラム事例集」などのノウハウを広範な関係者と共有連携しながらフィールドで実践し、自然体験活動の定着を図る「実践するCNAC三ヶ年計画」（平成28～30年度）を推進。さらに、令和元年度（平成31年度）からは地域と連携しつつ、財政の立て直しを主眼とした取り組み「新たな可能性を創造する三ヶ年計画」（令和元～3年度）を策定し、CNAC会員が地域の中でより一層活動を広げるための広報用リーフレット「地域の資源を生かす“海あそびスキルを学ぼう”」を作製し、PRを強化してきました。令和4年度からは、関係者との連携の一層の強化を目指した「新たな連携を構築する三ヶ年計画」として、CNACならではの海辺の環境教育プログラムの開発による自立運営に向けた取組を展開しています。

このたび、令和6年度CNAC総会の開催にあたり、東京湾の海で積極的に活動している大学、専門学校の現役生・卒業生の方々に話題提供を頂くことといたしました。

学生の視点から発表をいただくことにより、今後の会員の皆様の活動を広げる機会になると考えています。

### ■プログラム

1. 開催日時：令和6年5月28日（火）15：45～16：45
2. 開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟403  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
3. スケジュール

○演題：「学生による海辺の体験活動の普及」

○話題提供①：専門学校の取組 学校法人滋慶学園 TCA 東京 ECO 動物海洋専門学校

倉又千枝さん（TCA 卒業生、PACI 広報部・次長）※録画参加

田口那美さん（TCA2023 年度卒研リーダー、NPO 法人NPObirth）

小出亜実さん（TCA2023 年度卒研サブリーダー、オーストラリアにて、留学生）※録画参加

F.M.さん（TCA2 年生、葛西海浜公園クリーンアップ・プロジェクト卒研サブリーダー）※録画参加

○話題提供②：大学の取組 田村聖花さん（国立大学法人東京海洋大学4年）

○プログラム

- ・受付 15：00～
- ・講演 15：15～16：45 ※質疑含む
- ・閉会 16：45

話題提供①：学校法人滋慶学園 TCA 東京 ECO 動物海洋専門学校



倉又千枝さんとF.M.さん



倉又千枝さん



葛西海浜公園・浜辺の観察・  
ビーチコーミング



子供たちとビーチコーミング、  
ビーチクリーンアップも  
安全管理も

**葛西臨海公園 クリーンアップ作戦**

開催日時 2023.11.18 12.16 1.20 (土)  
 集合場所・時刻 葛西臨海公園事務所 (葛西側) 9:15開演

参加費 **無料!** (エコツアー参加費は別)

活動内容 ビーチクリーンアップ (海沿いのみ参加)  
 ビーチコーピング (海沿いの清掃)  
 海の交通安全 (海沿いの清掃)  
 フォトフレーム作り

持ち物 防寒や強い服装、帽子、水筒、扇子、タオルなど  
 \*ゴミやトングは現場で貸してあります

参加費 参加費は無料ですが、お昼食は別 11:00開演予定  
 \*参加費は参加までお支払いをさせていただきます

主催 NPO法人PACI 国際海洋自然観察員協会  
 協賛 SOMPO環境財団  
 協力 環境人育成学校 TCA東京Eco環境教育専門学校

お問い合わせはこちらのQRコード、または下記の連絡先へ  
 お問い合わせ先 葛西臨海公園事務所 0470-22-1111  
 事務局 E-mail: [info@pacicjindo.com](mailto:info@pacicjindo.com)

サブリーダー小出亜実(こいで つぐみ)さんの作ったチラシ



最前列・右端・小出亜実さん、最後部左から4人目・田口那美さん、  
 2列目右から5人目・F.M.さん、2023.7.15@葛西海浜公園

話題提供②：田村聖花さん（東京海洋大学 4年）プロフィール



横浜生まれ。

地元横浜・東京湾の環境再生に貢献できる人間になりたいと思い、東京海洋大学に入学する。大学1年生の5月にNPO法人海辺つくり研究会に入会し、東京湾・横浜の環境再生活動に関わり始める。その後浦安、葛西、お台場、大森、横浜などを拠点とする東京湾沿岸の複数の市民団体に入会し、活動を広げる。

大学2年生の2月に、それまで携わってきた市民団体の活動へ若者の参画を増やすため、東京湾連絡網という学生団体を立ち上げる。既存の団体の活動へ参加することが主な活動だが、普段の活動で学んだことをもとに独自のワークショップを企画したり、公で発表したりするなど、東京湾への理解を広める活動にも努めている。

活動1年目は、43回の活動数と122人の学生の参加を達成した。市民活動以外にも、生物採取や潮干狩り、釣り、ダイビング、操船、水族館巡り、魚をさばくことなどを趣味とし、多方面から海に関わっている。

現在は大学の研究室で海洋の一次生産を支配する栄養成分の研究をしており、将来は海洋環境を研究する海洋学者になることを目指している。